



## 平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月5日

上場会社名 株式会社 ダイエー

上場取引所 東

コード番号 8263 URL <http://www.daiei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑原 道夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 山崎 真樹生

TEL 03-6388-7335

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	420,000	△4.1	△1,555	—	△2,059	—	△2,722	—
24年2月期第2四半期	437,899	△5.6	2,045	150.0	295	—	△9,357	—

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 △3,599百万円 (—%) 24年2月期第2四半期 △11,373百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	△13.69	—
24年2月期第2四半期	△47.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	372,350	134,904	36.2
24年2月期	379,182	138,503	36.5

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 134,870百万円 24年2月期 138,474百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)に係る配当の状況につきましては、定款において剰余金の配当を行わない旨が定められているため、記載を省略しております。

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	843,000	△3.0	1,500	△59.8	△1,000	—	△5,000	—	△25.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	122,597,537 株	24年2月期	122,597,537 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	164,194 株	24年2月期	164,069 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	122,433,342 株	24年2月期2Q	122,434,196 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在におきまして当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
決算補足説明資料 .....	11
平成25年2月期 第2四半期(累計) 決算説明資料 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日～平成24年8月31日)におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要の顕在化に伴い緩やかに回復傾向にあるものの、円高基調やデフレ傾向に加え電力供給不安等により、先行きは極めて不透明な状況となっております。小売業界におきましても、雇用環境の改善により個人消費も緩やかに増加しているものの、業種、業態及びチャネルを超えた競争は一層激化し、厳しい経営環境が続いております。

当社グループは「光り輝くダイエーの復活」を目指し、当連結会計年度を最終年度とした「ダイエーグループ中期経営計画－Brilliant Daiei 55－(以下「BD55」)」を策定し、「お客様、地域社会の『ライフソリューションパートナー』」を企業のありたい姿とし、“新たな提供価値である利便性ソリューションを通じて、お客様、地域社会とともに発展していく企業”を目指すべき方向として、各施策に取り組んでおります。

小売事業につきましては、BD55で定めた店舗の業態戦略に基づく各施策を引き続き推進し、「収益力の回復」、「利益率の改善」及び「生産性の改善」の3つの課題に取り組んでおります。

「収益力の回復」につきましては、地域に密着し、お客様のニーズを反映した売場作りに取り組んでおります。具体的には地域ごとに家計消費支出データを品揃え、売場作り及び販売促進に反映しているほか、食料品や日用品においては地域別に価格設定を行い、お客様がお求めやすい価格で商品を提供することにより店舗の競争力を高めてまいりました。また、鮮度に対するニーズに応えるために産地直送野菜の品揃え強化にも努めてまいりました。さらに、当社店舗をご愛用いただいているハートポイントカード会員のお客様に対し、会員限定のお買得商品の提供や購買履歴に基づいたお買物提案等、お客様一人ひとりの特性に合わせた対応を継続して行っております。

また、高齢化社会の進展に伴い、シニア世代のお客様にもご利用しやすい店舗を目指した様々な取り組みを推し進めております。具体的には大きな文字サイズでの価格表示、広い通路幅の確保やお買物の途中で休憩いただけるスペースの確保等、設備面での改善も進めております。商品面においても健康、安心安全、小規格にこだわった品揃えの強化に取り組んでまいりました。さらに60歳以上のお客様を対象にした「ハートポイントカードPLUS+(プラス)」を発行し、会員様向けに毎月15日はほぼ全品でポイントを5倍にする企画を実施しております。

加えて、第3四半期連結会計期間以降につきましては、デフレ傾向への対応として生活必需品を中心とした販売価格の引き下げに取り組み、買い上げ点数アップ及び客数アップによる収益力改善を推し進めてまいります。

「利益率の改善」につきましては、利益率の高い商品の売上を拡大することで利益率向上を図っております。具体的には専門性の高い売場構築のため、自転車、ドラッグストア、調剤薬局といった伸長カテゴリーの導入拡大に向けて必要な人材の確保、育成も進めております。

開発商品につきましては、新商品の開発や既存商品のリニューアルにより引き続き販売構成比の拡大に取り組んでおります。具体的にはシニア世代をターゲットに健康、安心安全、適量、小規格、パッケージの見やすさまでこだわった商品を新たに販売いたしました。そのほかにも、安心安全をコンセプトとした「おいしくたべたい!すこやか育ち」野菜については、契約農家との取り組みを強化することで品目数を拡大いたしました。また、男性向けカジュアル衣料においては、新ブランド「NADES(ナディス)」にて生活シーン別提案を軸に販売拡大に努めております。

そのほかには、自社の売上状況データを分析するシステムを活用し、食料品の見切りの削減、廃棄率の改善や衣料品の荒利益率改善の取り組みを継続しております。

「生産性の改善」につきましては、効率的な店舗運営体制の確立を推し進めております。具体的には業態ごとに適切な作業スケジュールと人員配置を設定することで効率的な店舗運営体制の確立を進めております。また、スーパーマーケット業態(以下「SM」)を中心に、より効率的なオペレーションを行うため、店舗内の横断的な作業割付や食品加工センターの活用を通じた生産性改善の取り組みを継続しております。

加えて、前連結会計年度より導入を開始したギフト承りシステムについては、計画していた店舗全店への導入を完了し、スムーズな承りや配達にかかる時間の短縮により、お客様の負の解消を図るとともに作業効率の改善を実現いたしました。このほか、店舗照明のLED照明や高効率反射板付照明への切替えによる省エネルギーの取り組みについても引き続き推進しております。さらに、当社子会社における経理業務をはじめとした後方業務の集約や、運輸業を営む当社子会社の株式会社ロジワンによるグループ内の物流受託範囲の拡大等、グループ全体で効率的な経営体制の構築を進めております。

これらの取り組みに加え、今後さらなる販売価格の引き下げを実現するためにムリ、ムダ、ムラの削減による業務効率改善や省エネ等、ローコスト施策の取り組みを推し進めてまいります。

上記の3つの課題に取り組むほか、エリアでのシェアを高め事業規模を拡大するための成長戦略も積極的に実行してまいりました。

新規出店につきましては、当社において3店舗、SM業態の店舗を展開する当社子会社の株式会社グルメシティ関東において3店舗、ディスカウントストア業態の店舗を展開する当社子会社の株式会社ビッグ・エーにおいて2店舗、株式会社ビッグ・エー関西において1店舗を出店いたしました。また、当社において、ダイエー南浦和東口店(埼玉県)を9月に出店いたしました。

既存店舗の活性化につきましては、食料品や生活用品をカテゴリごとに集約したダイエー小平店(東京都)等、当社で16店舗の改装を行いました。

ネットスーパーにつきましては、展開店舗を全国で42店舗まで拡大いたしました。加えて、これまではお客様からのご注文はパソコンからのアクセスのみとなっておりますが、新たにスマートフォン用ページを開設し、お客様の利便性向上に取り組んでおります。

不動産事業につきましては、商業施設を運営している当社子会社の株式会社OPAにおいて、既存店舗の改装や集客力の見込めるテナントの新規導入及び入替を継続的に実施することで収益力の強化に努めてまいりました。

海外市場につきましては、拡大する中国等の需要を捉えていくための検討を進めております。具体的には前連結会計年度より提携先である丸紅株式会社へ派遣している当社従業員が中国に駐在し、現地のライフスタイルやニーズを踏まえて具体的な出店エリアや業態の絞り込みを行っております。

当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、営業収益は、前年同期において東日本大震災後の需要拡大による一時的な売上増加があった影響等により、前年同期に比べ179億円減収の4,200億円(前年同期比4.1%減)となりました。

営業損益につきましては、営業収益が前年同期を下回ったこと等により、前年同期に比べ36億円悪化の16億円の営業損失となりました。

経常損益につきましては、営業損益が悪化したこと等により、前年同期に比べ24億円悪化の21億円の経常損失となりました。

四半期純損益につきましては、資産除去債務に関する会計基準の適用による損失72億円や東日本大震災に伴う損失14億円等の特別損失を前年同期に計上したこと等により、前年同期に比べ66億円改善の27億円の四半期純損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、新規出店等に伴い有形固定資産は増加したものの、借入金の返済等による現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ68億円減少し、3,724億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、約定弁済等による借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ32億円減少し、2,374億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失を27億円計上したことや保有する有価証券の時価下落による影響等により、前連結会計年度末に比べ36億円減少し、1,349億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における連結業績予想につきましては、平成24年9月26日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（法人税法の改正に伴う有形固定資産の減価償却の方法の変更）

法人税法の改正（「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年12月2日 法律第114号）及び「法人税法施行令の一部を改正する政令」（平成23年12月2日 政令第379号））に伴い資産の利用状況等を勘案した結果、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産の減価償却の方法については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### （4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,244	28,567
受取手形及び売掛金	2,230	2,601
商品及び製品	43,662	41,859
未収入金	14,809	16,339
その他	15,241	14,995
貸倒引当金	△87	△74
流動資産合計	109,099	104,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,781	51,362
土地	93,548	92,299
その他（純額）	14,655	15,901
有形固定資産合計	156,984	159,562
無形固定資産	11,029	10,591
投資その他の資産		
投資有価証券	8,306	7,427
差入保証金	94,475	91,289
その他	16,630	16,326
貸倒引当金	△17,341	△17,132
投資その他の資産合計	102,070	97,910
固定資産合計	270,083	268,063
資産合計	379,182	372,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,952	59,582
1年内返済予定の長期借入金	3,801	4,801
未払金	16,847	15,732
未払法人税等	1,318	894
賞与引当金	718	716
販売促進引当金	2,038	2,041
商品券引換引当金	1,432	1,428
その他	16,603	17,429
流動負債合計	100,709	102,623
固定負債		
長期借入金	50,801	47,605
長期預り保証金	19,745	19,012
再評価に係る繰延税金負債	6,299	6,297
退職給付引当金	29,116	29,486
閉鎖損失等引当金	12,663	11,368
資産除去債務	10,769	10,714
その他	10,577	10,341
固定負債合計	139,970	134,823
負債合計	240,679	237,446
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	56,517	56,517
資本剰余金	56,014	56,014
利益剰余金	13,645	10,927
自己株式	△452	△452
株主資本合計	125,724	123,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,355	473
土地再評価差額金	11,395	11,391
その他の包括利益累計額合計	12,750	11,864
少数株主持分	29	34
純資産合計	138,503	134,904
負債純資産合計	379,182	372,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	407,767	390,590
売上原価	283,968	272,223
売上総利益	123,799	118,367
営業収入	30,132	29,410
営業総利益	153,931	147,777
販売費及び一般管理費	151,886	149,332
営業利益又は営業損失(△)	2,045	△1,555
営業外収益		
受取利息	149	124
受取配当金	1	133
閉鎖損失等引当金戻入額	—	641
貸倒引当金戻入額	—	156
雑収入	311	781
営業外収益合計	461	1,835
営業外費用		
支払利息	1,557	1,360
退職給付会計基準変更時差異の処理額	358	358
雑損失	296	621
営業外費用合計	2,211	2,339
経常利益又は経常損失(△)	295	△2,059
特別利益		
固定資産売却益	77	1,003
受取和解金	—	317
貸倒引当金戻入額	984	—
違約金収入	692	—
閉鎖損失等引当金戻入額	677	—
その他	493	84
特別利益合計	2,923	1,404
特別損失		
固定資産減損損失	860	866
閉鎖損失等引当金繰入額	784	452
災害による損失	1,381	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,214	—
その他	1,680	198
特別損失合計	11,919	1,516
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,701	△2,171
法人税、住民税及び事業税	682	460
法人税等調整額	△27	86
法人税等合計	655	546
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△9,356	△2,717
少数株主利益	1	5
四半期純損失(△)	△9,357	△2,722

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△9,356	△2,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,017	△882
その他の包括利益合計	△2,017	△882
四半期包括利益	△11,373	△3,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,374	△3,604
少数株主に係る四半期包括利益	1	5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

1. 連結業績



(単位:億円)

	2011/8 (累計)実績	2012/8(累計)			
		期初公表	実績	前年 同期差	公表差
営業収益	4,379	4,350	4,200	-179	-150
営業利益	20	23	△16	-36	-39
経常利益	3	8	△21	-24	-29
四半期純利益 (累計)	△94	△3	△27	+66	-24

当資料は億円未満を四捨五入しております

1. 連結業績-B/S



(単位:億円)

科目	2011/2	2012/2	2012/8	期首差
流動資産	1,156	1,091	1,043	-48
固定資産	2,793	2,701	2,681	-20
資産合計	3,948	3,792	3,724	-68
流動負債	980	1,007	1,026	+19
固定負債	1,472	1,400	1,348	-51
負債合計	2,452	2,407	2,374	-32
純資産	1,497	1,385	1,349	-36
有利子負債※	686	608	591	-17
うち外部借入	651	546	524	-22

※有利子負債にはリース債務も含まれております。

2. 単独業績



(単位:億円)

	2011/8 (累計)実績	2012/8(累計)	
		実績	前年 同期差
営業収益	3,488	3,361	-127
売上高	3,300	3,180	-120
小売売上高	2,937	2,839	-98
(既存店前年比)	(98%)	(96%)	—
(小売荒利益率)	(28.5%)	(28.8%)	(+0.3)
供給売上高	363	341	-22
不動産収入他	188	182	-7
営業総利益	1,026	1,001	-25
販管費	1,022	1,018	-3
営業利益	5	△17	-22
経常利益	4	△3	-7
四半期純利益(累計)	△79	△2	+76

2. 単独業績－既存店売上前年比の状況



	2011年度			2012年度		
	上期	下期	通期	上期		
				1Q	2Q	累計
小売計	98%	97%	98%	97%	95%	96%
客数	96%	96%	96%	96%	95%	96%
客単価	102%	102%	102%	101%	99%	100%

【第2四半期月別既存店売上前年比】

	6月	7月	8月	2Q
小売計	93%	94%	97%	95%
客数	93%	94%	98%	95%

2. 単独業績—小売荒利益率の状況



	2011/8	2012/8	前年 同期差
小売荒利益率計(単独)	28.5%	28.8%	+0.3
食品	27.4%	27.3%	-0.1
衣料品	34.8%	36.3%	+1.5
生活用品	27.6%	28.0%	+0.4

3. 連結：通期業績予想



上期の売上トレンドに鑑み、通期の見込みを修正

(単位:億円)

	2012/2	2013/2				(参考)2013/2下期見込み			
	実績	期初公表	修正公表 (2012/9/26)	修正額	前年差	期初 公表	修正 公表	修正額	前年 同期差
営業収益	8,695	8,700	8,430	-270	-265	4,350	4,230	-120	-86
営業利益	37	80	15	-65	-22	57	31	-26	+14
経常利益	4	45	△10	-55	-14	37	11	-26	+10
当期純利益	△114	10	△50	-60	+64	13	△23	-36	-3